

研修 評価

研修名	身体抑制をしない看護 ～身体抑制ゼロをめざして～				
領 域	専門性の開発能力	会場	Zoom によるオンライン研修（新潟県看護研修センター）	受講料	会 員：3,080 円 非会員：9,240 円
対 象	学習段階レベル（新人、Ⅰ～Ⅳ、看護管理者） 募集数(120 人)応募数(105 人)参加数(104 人)会員数(101 人)非会員数(3 人)				
日 時	令和 7 年 5 月 29 日（木曜日） 10：00 ～ 16：00				
ねらい（目標）	1. 身体抑制ゼロにむけた取り組みのなかで深まっていく患者理解と患者を尊重する看護の実践を理解し、看護における倫理を再考する。				
講 師	講師名 小藤 幹恵	所属	石川県看護協会	役職	会長
内容・方法	○講義内容 看護の質をささえる倫理・身体抑制をしない看護のための組織づくり・身体抑制をしない看護のための教育体制・抑制をしない臨床からの実践報告 ○研修方法 講義				
結 果	評価基準： ①参加数が募集数の 70%以上 ②研修内容の理解度（できた、ほぼできた）80%以上 ③自己課題の達成度又は研修目標（知識技術）の習得度（できた、ほぼできた）80%以上 ④アンケートの意見 ○参加者数 104 名 87% 【達成】未達成】 ○アンケート結果（回収率 75%） ・理解度 100% 【達成】未達成】 ・自己課題の達成度 92.3% 【達成】未達成】 ○受講者の意見 ・患者さんの安全の守るために抑制するという考えを持っていました。仕方ないから抑制をではなく、どうしたら抑制を外せるか考えながら看護していきたい。 ・自分たちが強い意志を持ち身体拘束ゼロを目指すこと、多職種連携や情報共有の大切さを学びました。 ・自分たちはもちろん職場スタッフや医師等全体で抑制しない療養生活を患者さんが過ごせるように考えていくことが大切だと学んだ。 ・もう少し具体的な抑制解除方法などが聞きたかった。 ・看護実践内容の詳細をもっと知りたかった。 ・ズームに慣れていないため、抵抗があった。ネット環境が悪く、途中で接続が切れてしまった。				
評 価・総 括	○目標達成の評価：【研修会の目標は達成した】・達成しなかった】 参加率もよく、理解度・研修目標の習得度共に達成であった。 ○総括 研修会開催の良かった点・改善点、今後の継続について 身体抑制、解除は、あらゆる施設で課題となっており、アンケートの感想では満足度も高く、実践したいという感想も多かった。今後も継続の必要性がある。また、受講者のネット環境については、学習要項にホームページ「オンライン研修ガイド」を参照するよう案内しているため、今後も同様に案内を行っていく。				
課 題	○特になし				
担当者	教育委員				